

## 令和2年度日本素材物性学会第2回研究会 ご案内

研究テーマ：「放射光を用いた最先端の物性評価 ～施設概要から応用まで～」

日時：令和3年3月29日(月) 13:30～16:20

Zoomでのオンライン開催

主催：日本素材物性学会

共催：秋田県高エネルギー加速器技術研究会、秋田大学地方創生センター、  
秋田大学大学院理工学研究科、秋田大学大学院国際資源学研究科

参加費：無料(自由にご参加ください。)

申込み：参加希望者は、日本素材物性学会事務局へお申し込みください。

Zoom会議のIDとパスワードを提供します。

**概要** 素材をナノスケールかつこれまで知り得ることができなかった物性を評価することができるようになってきた、放射光を用いた新しい評価方法に着目し、4名の研究開発者をお招きして、その最先端の内容を知って頂く機会を設けました。まず、東北大学 教授 村松淳司氏に、仙台に建設中の次世代放射光施設における、大学の役割および産学官連携の重要性・有効性について、そして、同施設の建設を取り纏めておられる、東北大学 教授 中村哲也氏に、ビームラインの概要や東北地域の学術・産業への期待などについて、お話いただきます。また、東北大学 教授 高橋幸生氏に、世界最高レベルの高空間分解能での微細構造のイメージング、特定元素のみのイメージング、そして酸素吸蔵・放出の拡散分布などの化学結合状態に関するイメージングなどについて、お話いただきます。そして、本研究会を共催する秋田県高エネルギー加速器技術研究会の正会員(企業会員)で、製品の新しい評価方法として、放射光を用いた分析に関する成果を出しておられる、斉藤光学製作所の千葉様に、その成果について、ご紹介頂くことにしました。

### 記

#### プログラム

13:30～13:35 主催者挨拶

13:35～14:10 「次世代放射光施設の概要と東北大学の役割」

東北大学 副理事 国際放射光イノベーション・スマート研究センター長 教授

博士(工学) 村松 淳司 氏

14:10～14:45 「次世代放射光ビームラインの概要と利活用ケース」

東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター

放射光次世代計測科学連携研究部門 教授

博士(工学) 中村 哲也 氏

15:00～15:50 「放射光を用いた微細構造イメージングの新展開：メソスケールでの物性を可視化する」

東北大学 国際放射光イノベーション・スマート研究センター

横幹研究部門 部門長 データ可視化スマートラボ 教授

博士(工学) 高橋 幸生 氏

15:50～16:10 「中小企業における放射光利活用 —先進パワー半導体基板の表面ダメージ評価—」

株式会社 斉藤光学製作所 経営企画室 室長

博士(工学) 千葉 翔悟 氏

16:15 閉会

申込先 日本素材物性学会事務局 (010-8502 秋田市手形学園町 1-1 秋田大学地方創生センター2号館事務室内)

TEL・FAX：018-889-2439、E-mail：s\_bussei@gipc.akita-u.ac.jp、<http://www.gipc.akita-u.ac.jp/~smerj/>